



発行日
2025.10.1

第185号

西讃地域の輝く担い手紹介⑧

道上^{みちがみ}営農組合（観音寺市大野原町）

～組織若返りで地域の活性化～

道上営農組合と後継者の皆様



「道上営農組合（組合長 大久保隆敏氏・写真前列中央）」は、基盤整備を契機に導入したトラクターを共同利用する組合として、昭和48年4月に発足した西讃地域で最も歴史のある集落営農組織です。

同組合は、道上地区の農地を守るだけでなく、集落営農の先達として、管内の他の集落営農組織にも多くのご助言をされてきました。

一部の集落営農組織では解散が見られるなか、長く続けられる秘訣を大久保組合長にお聞きしますと、「定期的に親睦会を開催し、集落内で交流を深めることで、少々のことでは揺るがない人間関係を構築できているから」だそうです。

管内には現在、40の集落営農組織がありますが、構成員の平均年齢は69歳と高齢化が進み、活動が停滞している組織も散見されています。

道上営農組合も同様に高齢化が進んでいたことから、組織の若返りを図るため、令和6年度に県のリクルート活動支援事業（ソフト事業）を活用し、後継者に働きかけ、1名が加入しました。令和7年度は、さらに取組みを進め、組織の若返り支援事業（ハード事業）を活用し、若手からの要望のあったキャビン付コンバインを導入するとともに、5名の後継者が新たに加える予定です。加入予定者はいずれも会社員のため、休日を活用し、農作業に関わっていくよう促していくこととしています。

「後継者の育成に取り組むとともに、近隣集落の農業者の積極的な受け入れを進め、地域の遊休農地増加に歯止めをかけ、さらには生産コストの削減にも努めていきたい」と、今後の抱負を語ってくださいました。

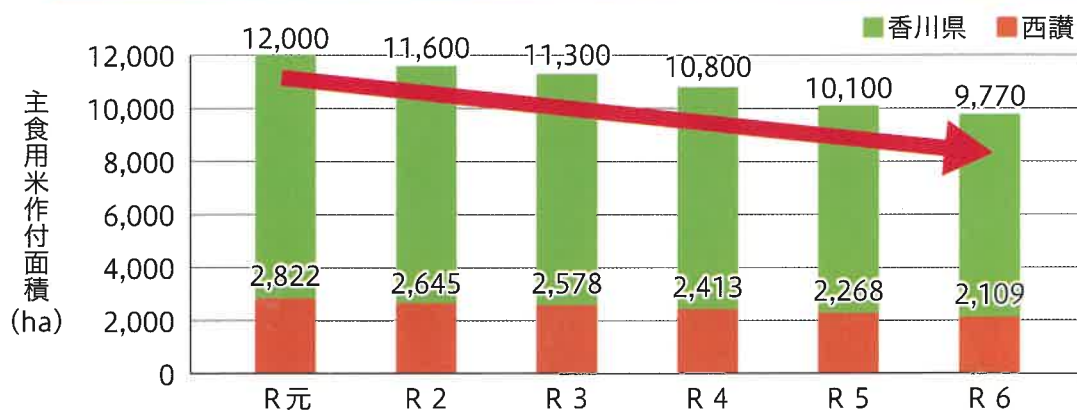
全国的に米の供給量が減少しています ぜひとも水稻の作付拡大を！

○香川県の水稲作付面積は、令和元年からの5年間で約2,200ha減少しています。

また、西讃地域でも5年間で約700ha減少しています。

○『さぬき米』ブランドの維持や水田が持つ多面的機能の維持のためにも、作付面積の拡大にご協力をお願いいたします。

香川県及び西讃地域における主食用米の作付面積の推移



参考 J A 香川県主食用米仮渡金単価(令和7年8月1日時点)(単位:円)

品 種	1 等	2 等	3 等
コシヒカリ	26,100	25,200	24,300
ヒノヒカリ	25,500	24,600	23,700
あきさかり・にじのきらめき	25,500	24,600	23,700
オオセト	26,100	25,500	24,600

仮渡金単価は
昨年度よりも
約5,000円
高くなってい
ます



水田が持つ多面的機能が保たれます

水稻作をやめた場合

①湛水による病虫害防除

②生態系の保全

③保水機能による災害発生軽減

裏作作物の**病虫害増**

農地荒廃による**生物多様性の低下**

大雨による**洪水・浸水被害増**



米作りの疑問や相談は普及センターへ

『苗がうまく育たない』、『農薬は何を使えばよい』など米作りに関する相談は、普及センターまでお問い合わせください。



電話相談・ほ場への訪問相談など承りますので、お気軽にご連絡ください。

野生獣を寄せ付けない環境をつくりましょう

～イノシシ・サル・アライグマ・カラス等の被害から農作物を守るために～

農作物被害が発生するのは、**野生獣にとって「安全」かつ「餌を食べられる」場所**です。この2つの条件が揃うと被害が増加します。

野生獣の餌には2種類あります。人間が「野生獣に食べられたら怒る餌」と「食べられても被害としない餌」です。

1. 「食べられても被害としない餌」をなくそう！

稲のヒコバエは冬までに耕耘しましょう。収穫しない作物は伐採し、病虫害被害の作物や出荷調整時に出た残渣は放置しないようにしましょう。倉庫や作業小屋の隙間を塞いでハクビシン等の侵入を防ぎましょう。



水稻のヒコバエ処理



地面に放置されたカンキツ



収穫されないカキ

2. 侵入防止柵の点検・補修を忘れずに！

柵の破損、地面と柵の隙間、支柱のぐらつきが無いが、月1回は見回って点検しましょう。

サルやハクビシン等の対策には柵の上部に電気牧柵を追加して、24時間、365日通電しましょう。



集落での侵入防止柵設置



ワイヤーメッシュ柵にノリ網、裾部に竹を追加



イノシシの潜り込み跡

3. みんなで協力して農作物を守ろう！

自治会等で被害場所や対策方法を共有して柵の点検・修繕をしましょう。被害や侵入の痕跡を見つけたら早めに修繕しましょう。



地図に被害場所を記載して情報共有



住民が主体の侵入防止柵の点検活動



住民が協力しながら柵の修繕活動

※ 電気牧柵を設置している場合は、24時間・365日の通電又は作物収穫後の撤去が基本です。

柵のメンテナンスと環境管理で、大切な農作物を守りましょう！

受賞おめでとうございます

◆令和6年播き香川県高品質麦生産コンクール

部	表彰区分	受賞者
個人	香川県農業協同組合 理事長賞	さんわ農夢株式会社（三豊市）
個人	香川県 農政水産部長賞	大西 毅彦（観音寺市）
個人	奨励賞	株式会社中大（観音寺市）
個人	奨励賞	関 航（三豊市）
生産 集団	香川県農業協同組合 理事長賞	農事組合法人 一ノ谷生産組合（観音寺市）



◆第46回香川県野菜立毛品評会

表彰区分	受賞者
農林水産省農産局長賞	【きゅうり】小田 雪（三豊市）
香川県農政水産部長賞	【きゅうり】神原 収司（三豊市）／【アスパラガス】守谷 耕治（観音寺市）
株式会社日本農業新聞会長賞	【青ねぎ】株式会社 URAfarm（観音寺市）
香川県農業協同組合中央会 代表理事会長賞	【きゅうり】谷川 順哉（三豊市）
香川県農業協同組合 代表理事理事長賞	【青ねぎ】川上 悟史（観音寺市）
公益社団法人 香川県青果物協会理事長賞	【きゅうり】田中 哲也（観音寺市）
香川県野菜花き生産者研究会会長賞	【きゅうり】登 博基（三豊市）／【きゅうり】近藤 和雄（三豊市）

◆第14回香川県園芸振興貢献表彰

表彰区分	受賞者
香川県農業協同組合代表理事理事長賞	【きゅうり】小西 忠男（三豊市）／【青ねぎ】藤田 一（観音寺市）

◆第5回香川県園芸新規就農表彰

表彰区分	受賞者
香川県農業協同組合代表理事理事長賞	馬淵 健行（三豊市）／森宗 孝晃（観音寺市）

※順不同で、敬称は省略させていただいております。

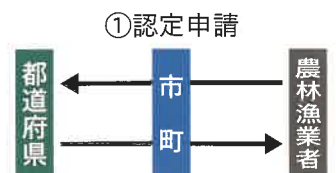
みどり認定を受けてみませんか？

「みどりの食料システム戦略」の実現に向けて、みどりの食料システム法の認定制度がスタートしました。農林漁業者は、環境負荷の低減に取り組む5年間の事業計画を作成し、県知事の認定を受けることができます。詳しくは県農政課HP（二次元コード）をご覧ください。

「環境負荷の低減」の取組例

- ・土づくり、化学肥料・化学農薬の使用低減
（土壌診断説明会を開催予定：詳しくは別添チラシを参照）
- ・燃油使用低減や水稻中干し期間延長等、温室効果ガスの排出削減
- ・バイオ炭の農地施用
- ・農業用プラスチックの排出削減 など

○次回（第7回目認定）の県申請締切は令和8年2月13日（金）です。



②計画認定

グループ申請も可能